HITATCHI

FLORA 270W

NV8/NV9

(Microsoft® Windows® XP Professional Operating System)

Windowsを使えるようにする

ー電源を入れてからー

マニュアルはよく読み、保管してください。
・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

このマニュアルの使い方

このマニュアルでは、電源の入れ方、ポインティングパッドの使い方、電子マニュアルの使い方を説明します。

はじめて使うときは

1 章　パソコンを始めよう

パソコンの電源の入れ方とポインティングパッドの使い方を説明しています。パソコンを接続していない場合は、『パソコンを準備する』の 1 章をはじめにお読みください。

パソコンを購入時の状態に戻したいときは

3 章　ご購入時の状態に戻すには

もっと知りたいときは

2 章　もっと詳しく知るために

電子マニュアルを使ってさまざまな設定方法を知ることができます。ここでは電子マニュアルの使い方を説明します。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
CD/DVD ドライブ	このマニュアルでは、CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブをまとめて表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。

マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンなどを省略している場合があります。URL、メールアドレスなどは、マニュアル制作時点のものです。

もくじ

1 章

パソコンを始めよう

パソコンの電源をはじめて入れるときの操作とポインティングパッドの使い方について説明します。

『パソコンを準備する』の 1 章で、パソコンの電源を入れてからお読みください。

はじめて電源を入れるときは

はじめてパソコンの電源を入れるときは、Windows の使用許諾契約に同意して、Windows を使えるようにする必要があります。

電源を入れる

パソコンの電源スイッチを押すと、ディスプレイに［Windows XP Professional セットアップ］画面が表示されます。

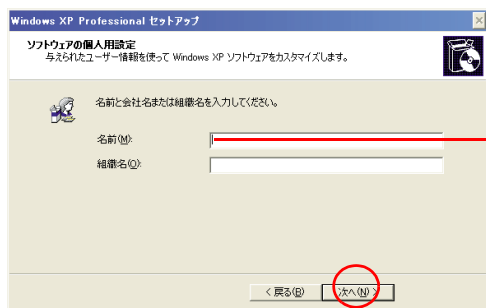
使用許諾契約に同意しよう

1 **[Windows XP Professional セットアップ] で、マウスポインターを [次へ] ボタンに重ね、クリックする。**

▼ [使用許諾契約] 画面が表示される。

2 **[同意します] ボタンをクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [ソフトウェアの個人用設定] の入力画面が表示される。

3 **名前を入力する。必要に応じて [Tab] キーで [組織名] へカーソルを移動し、組織名を入力する。組織名は省略してもよい。**
[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [コンピュータ名と Administrator のパスワード] の入力画面が表示される。

参照

電源の入れ方について→『パソコンを準備する』1 章の「電源を入れよう」

重要

◎ はじめて電源を入れるときは、セットアップが完了するまで、パソコンを長時間放置しないでください。

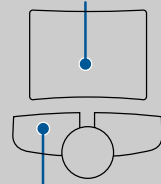
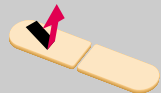
◎ 15 型 SXGA ＋モデルの場合、画面が中央に表示され、周りに何も表示されない領域ができますが問題ありません。セットアップ完了後、画面の解像度を出荷時の 1024x768 から 1400x 1050 に変更してご使用ください。

参照

画面の解像度の変更方法について→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1 章の「ディスプレイの明るさ、表示を変える」

ヒント

★ 画面に表示されている を、「マウスポインター」と呼びます。

★ ここでは、パソコンのこの場所を使って操作します。

★ クリックボタンを 1 回押すことを、「クリック」といいます。

ヒント

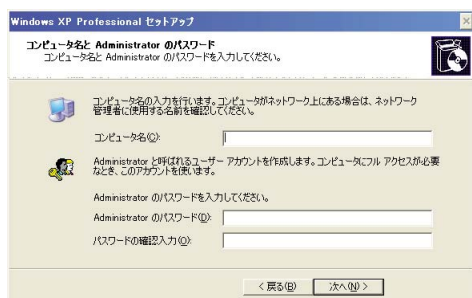
★ 日本語を入力するには

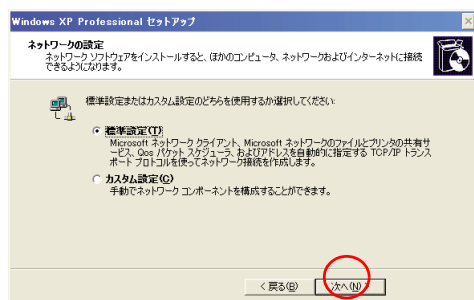
1. [半角 / 全角] キーを押し、日本語入力にする
2. ローマ字で読みがなを入力する
3. 目的の漢字になるまでスペースキーを押す
4. [Enter] キーで確定する

4 **コンピュータ名を入力する。コンピュータ名はネットワークのほかのコンピュータ名、ドメイン名、ワークグループ名と異なる名称にする。入力したあと、[次へ] ボタンをクリックする。**

5 **必要に応じてパスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [ネットワークの設定] 画面が表示される。

6 **Windows XP 標準のネットワークコンポーネントをインストールする場合は [標準設定] を選択したあと、[次へ] ボタンをクリックする。標準ネットワークコンポーネントの設定を変更する場合やネットワークコンポーネントの追加／削除を行う場合は [カスタム設定] を選択したあと、[次へ] ボタンをクリックする。**

ヒント

★ コンピュータ名は初期設定後でも変更できます。

7 [カスタム設定] を選択した場合、ネットワークの設定を手動で行う。

▼ [ネットワークの設定] 画面の設定終了後、[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示される。

8 ドメインまたはワークグループへの参加の選択を行い、参加する先のドメイン名またはワークグループ名をテキストボックスに入力する。

▼ [Windows XP セットアップウィザードの完了] 画面が表示される。

9 [完了] ボタンをクリックする。

▼ パソコンが立ち上げ直され、ネットワーク識別ウィザードの画面が表示される。

10 [次へ] ボタンをクリックする。

11 Windows のログオン時に常にユーザー名およびパスワードの入力を行うのかどうかを選択する。

12 [次へ] ボタンをクリックする。

13 [完了] ボタンをクリックする。

14 自動または手動で Windows にログオンする。

15 必要に応じて、残りのパーティションを設定する。

16 必要に応じてネットワークの設定を変更する。

ヒント

★ 手順 6 で [標準設定] を選択した場合、ネットワークの設定は自動で行われます。

★ 標準で次のネットワークコンポーネントをインストールします。

＊ Microsoft ネットワーク用クライアント

＊ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有

＊インターネット プロトコル (TCP/IP)

★ ネットワークコンポーネントのカスタム設定は画面の指示に従って行ってください。

ヒント

★ 通常 HDD の先頭約 10GB までしか使用できる状態になっていません。のこりはパーティションの設定により使えるようになります。

参照

パーティションの設定について→ 1 章の「パーティションを設定する」(P.7)

ヒント

★ ネットワークをご使用の場合は環境に合わせて変更をする必要があります。

パーティションを設定する

次の設定をすることで、HDD 内の未割り当て領域の使用が可能になります。パーティションのサイズは任意に設定できます。

1 **[スタート] ボタンをクリックする。**

2 **[設定] をクリックし [コントロールパネル] をクリックする。**

▼ [コントロールパネル] 画面が表示される。

3 **[管理ツール] アイコンをダブルクリックする。**

4 **[コンピュータの管理] アイコンをダブルクリックする。**

5 **[記憶域] − [ディスクの管理] をクリックし、ディスクの構成を表示する。**

6 **[未割り当て] 領域を右クリックし、[新しいパーティション] をクリックする。**

▼ [新しいパーティションウィザード] 画面が表示される。

7 **[次へ] ボタンをクリックする。**

8 **[プライマリーパーティション] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。**

５つ以上のパーティションを作成する場合は、[拡張パーティション] を選択し、画面の指示に従ってパーティションを作成してください。

9 **パーティションのサイズを入力し、[次へ] ボタンをクリックする。**

10 **ドライブ名を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。**

11 **フォーマットする方法を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。**

12［完了］ボタンをクリックする。

▼パーティションが作成され、新しいドライブとして認識される。

電源を入れ直す

Windows の使用許諾契約などが終わったら、電源を切ります。そのあと、もう一度電源を入れて、デスクトップ画面が表示されることを確認します。

電源を切る

電源を切る操作はとても大切です。電源は、この操作で切ってください。

1 [スタート] ボタンをクリックする。

2 [終了オプション] をクリックする。

▼ [コンピュータの電源を切る] 画面が表示される。

3 [電源を切る] ボタンをクリックする。

▼ しばらくするとパソコンの電源が切れ、電源ランプがオレンジ色になる。

ヒント

★ 電源スイッチを 4 秒未満押しても、手順 1 〜 3 の操作と同じように電源は正しく切れます。

★ 工場出荷時の設定では、15 分以上電源を入れた状態で放置すると、節電状態になり、画面の表示が消えます。20 分以上たつと、キーボードやマウスを操作しても、復帰しなくなります。このときは、電源スイッチを押すと復帰します。

重要

◎ 電源スイッチを 4 秒以上押さないでください。Windows が強制終了されます。その場合、異常終了と判断し、次回立ち上げ時にスキャンディスクが動くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がります。

電源を入れ直す

1 **パソコン前面の電源スイッチを押す。**

▼ [ようこそ] 画面が表示される。

2 **ログオンするユーザーのアイコンをクリックする。**
パスワードが必要な場合は、パスワードを入力して [→] ボタンをクリックする。

▼ Windows が立ち上がり、デスクトップ画面が表示される。

追加セットアップ

次の機能を使う場合は、追加セットアップを行います。

■3 モード FD

・3 モード FD ドライバー

■マルチメモリーカードリーダ / ライタ (マルチメモリーカードリーダ / ライタ内蔵パソコンの場合)

・マルチメモリーカードリーダ / ライタドライバー

■スマートカードリーダ／ライタ (スマートカードリーダ／ライタ内蔵パソコンの場合)

・スマートカードリーダ／ライタドライバー

■CD-R/RW 書込み (CD-R/RW ドライブ、または DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ内蔵パソコンの場合)

・Easy CD Creator

■DVD Video 再生 (DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ内蔵パソコンの場合)

・PowerDVD XP

ヒント

★ Windows のスタート画面が消えたあと、カーソルが表示された黒い画面の状態が続きます。デスクトップ画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。ディスプレイの種類によって、時間がかかる場合もあります。

重要

◎ パソコンの立ち上げ時にキーボードを連打しないでください。エラーメッセージが表示される場合があります。

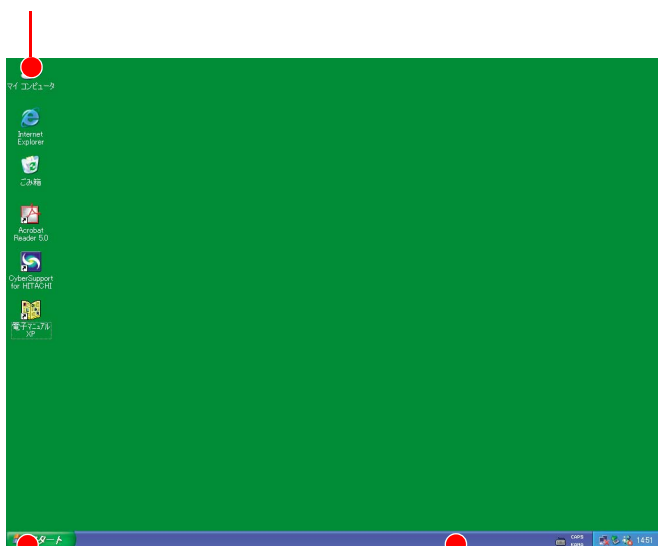
◎ パソコンを立ち上げ中「Press <F2> to enter SETUP,<F12> to enter Multi Boot Selection Menu」とメッセージが表示されるまでは、キーボードのキーを押さないでください。キーを正しく認識できずにエラーになることがあります。

参照

ソフトウェアの使い方について→電子マニュアル『使い勝手を良くする』の 3 章「付属ソフトウェアの使い方」
追加セットアップについて→電子マニュアル『使い勝手を良くする』の 4 章「追加セットアップ」

デスクトップを見る

Windows は、デスクトップ画面から操作を始めます。ここでは、デスクトップ画面に表示されている、基本的な部分について説明します。

［ マイコンピュータ ］アイコン
［ マイコンピュータ ］アイコンは、パソコンに記録された内容や、CD/DVD に記録された内容を見るときに使います。

［ スタート ］ボタン
［ スタート ］ボタンは、いろいろな操作を始めるときに使います。パソコンの電源を切るときも、［ スタート ］ボタンから操作を始めます。

タスクバー
タスクバーには、現在使っているアプリケーションの名前などが表示されます。

ヒント

★ 工場出荷時の設定では、電源が入っている状態で 15 分以上放置すると節電状態になり、画面の表示が消えます。キーボードやマウスを操作したり、電源スイッチを押すと復帰します。

重 要

◎ 電源スイッチは、4 秒以上押し続けないでください。

ヒント

★ 壁紙や画面の色は、変更することができます。お好みに応じて変更してください。

参照

詳細について→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1 章の「ディスプレイの表示を変える」

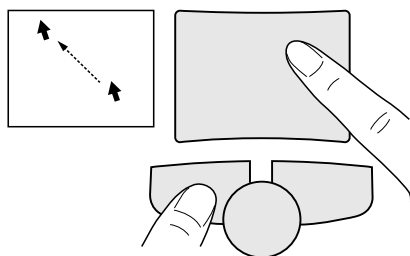
ポインティングパッドを使う

Windows は、ポインティングパッドやマウスを使って操作します。
はじめにポインティングパッドの基本的な使い方を覚えましょう。

指の置き方

ポインティングパッドの上に軽く人さし指を置き、左クリックボタンの上に軽く親指を置きます。

マウスポインターの移動

ポインティングパッドの上で指を動かすと、その動きに合わせてマウスポインターが画面上を動きます。

ポイント

ポインティングパッドの上で指を動かし、マウスポインターを移動し目的の位置に合わせることを、「ポイント」といいます。

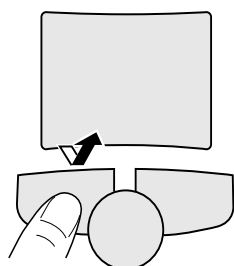
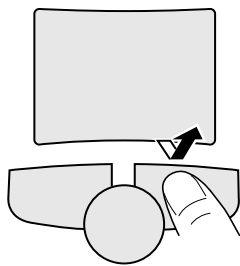
ヒント

★ 四方向スクロールボタンを使用すると、画面表示の移動が簡単になります。

参照

四方向スクロールボタンの使い方について→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1章の「ポインティングパッドを調整する」「画面をスクロールしよう」

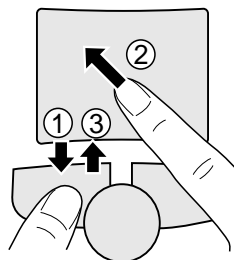
クリック

クリックボタンを１回押します。

ダブルクリック

左のクリックボタンを、２回続けて押します。

ドラッグ、ドラッグアンドドロップ

■クリックボタンで行う場合

左のクリックボタンを押したまま、ポインティングパッドの上で指を動かすことをドラッグといいます。画面上で範囲を指定するときなどに使います。
アイコンなどを左のクリックボタンを押して選び、ボタンを押したまま別の場所に移動して指をはなすことを、「ドラッグアンドドロップ」といいます。ファイルの移動やコピーなどに使います。

■ポインティングパッドで行う場合

ポインティングパッドを軽く２回続けて押し、そのまま指を離さず動かすとドラッグになります。別の場所に移動して指を離すとドロップできます。

ヒント

★ ダブルクリックするときの速さは、［マウスのプロパティ］画面で調節できます。

★ Windows で設定を変更すると、1 回のクリックでフォルダーを開いたり、アプリケーションを立ち上げたりできます。設定の変更については、Internet Explorer のヘルプを表示し、［キーワード］タブ内にある［シングルクリック］をご参照ください。

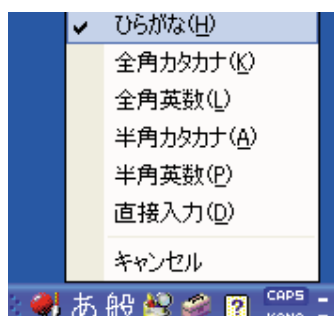
参照

ポインティングパッドの設定の変更について→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1章の「ポインティングパッドを調整する」

文字を入力する

日本語入力をオン - オフする

文字には半角文字と全角文字があります。半角文字は直接入力することができますが、全角文字を入力するには、日本語入力をオンにします。

・[半角／全角] キーを押す。
・IME タスクバーの［あ］または［A］をクリックし、[ひらがな] または [直接入力] をクリックする。

ヒント

★ 半角（英数字）文字：
abcdefg1234 ・・・・・

★ 全角（日本語）文字：
ａｂｃｄｅｆｇ あいうえお
日本語・・・・・

特殊文字を入力する

ツールバーの アイコン（[IME パッド]）をクリックし、[文字一覧］をクリックして表示させる。

ローマ字／かな入力を切り替える

[Alt] キーを押したまま [カタカナ ひらがな] キーを押す。
押すたびに、ローマ字入力とかな入力が交互に切り替わります。
かな入力のときは、MS-IME のツールバーの右に [KANA] と表示されます。

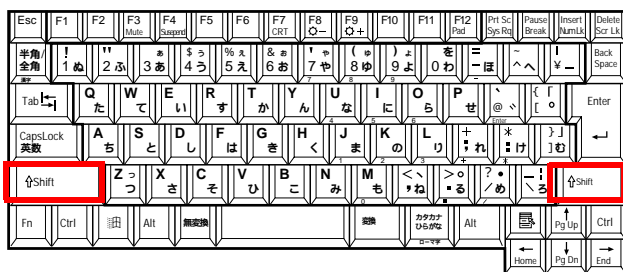
かな入力のとき

キー上の文字を打ち分ける

文字を打ち分けるには、[Shift] キーを使います。

■[Shift] キーを押しながら文字キーを押す
上の段の文字を入力できます。
文字キーをそのまま押すと下の段の文字を入力できます。
アルファベットが刻印されているキーは大文字と小文字が切り替わります。
■[Shift] キーを押しながら、[^] [＼] キーを押す
それぞれ、"～"や"＿"の記号が入力できます。

英大文字と英小文字を切り替える

■完全に切り替える [Caps Lock] キー
・Caps Lock をオンにすると大文字を入力できます。
・Caps Lock をオン／オフするには、[Shift] キーを押したまま [Caps Lock] キーを押します。
■一時的に切り替える [Shift] キー
・Caps Lock がオフの状態で [Shift] キーを押すと、押している間は大文字を入力することができます。
・Caps Lock がオンの状態で [Shift] キーを押すと、押している間は小文字を入力することができます。

参照
特殊文字の入力について「ローマ字／かな入力を切り替える」

ヒント
★ 言語バーのヘルプボタンをクリックし、[目次とキーワード] をクリックすると、文字の入力や変換方法の詳しい解説が参照できます。

2章

もっと詳しく知るために

ここでは、このパソコンの電子マニュアルとWindowsのヘルプの使い方について説明します。

パソコンとWindowsの使い方についてもっと詳しく知りたいときにお読みください。

電子マニュアルを使う

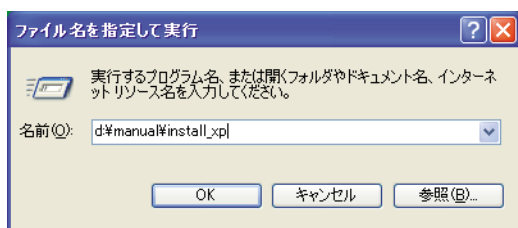
電子マニュアルでパソコンの使い方などを調べましょう。
電子マニュアルは、付属のマニュアルをパソコンで読めるようにしたものです。マニュアルの情報を画面で確認できます。
また、付属のマニュアルに加えて『使い勝手を良くする』、『ハードウェアを使いこなす』、『用語集』の 3 つの電子マニュアルもあります。あわせてご覧ください。

電子マニュアルを開く

電子マニュアルをインストールし、開きましょう。

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 「名前」に d:\manual\install_xp と入力して、[OK] ボタンをクリックする。

▼ 電子マニュアルがインストールされ、デスクトップに [電子マニュアル XP] アイコンが表示される。

3 [電子マニュアル XP] アイコンをダブルクリックする。

▼ [活用百科] メニューが表示される。

ヒント

★ 購入時の選択によっては、『活用百科』CD が同梱されていないモデルもありますが、お客様ご自身で『活用百科』CD を作成できます。

参照

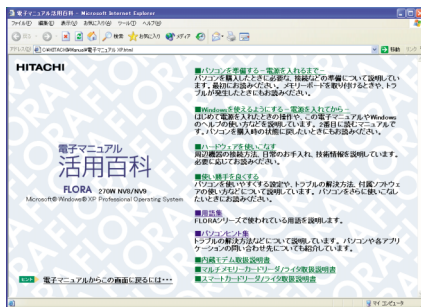
『活用百科』CD の作成→ 3 章の「『活用百科』CD を作成する」(P.37)

ヒント

★ 『活用百科』CD から電子マニュアルをインストールする場合は、次の手順で行ってください。
1 『活用百科』CD を CD/DVD ドライブに入れる。
2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
3 「名前」に e:\manual \insall_xp と入力して、[ok] ボタンをクリックする。
※ e は CD/DVD ドライブ名です。

ヒント

★ 「Acrobat Reader」については、「HITAC カスタマ・アンサ・センタ」までお問い合わせください。アドビシステムズ株式会社では、お問い合わせを直接受け付けていません。

★ 電子マニュアルを CD-ROM から直接読むときは、『活用百科』CD を CD/DVD ドライブに入れ、[manual] フォルダーの電子マニュアル XP.html をダブルクリックします。

4 読みたいマニュアルをクリックする。

▼ Acrobat Reader の使用許諾の画面が表示される。

5 [同意] ボタンをクリックする。

▼選択した電子マニュアルが表示される。

6 マウスポインターが指差しアイコンに変わったところをクリックする。

▼選択した電子マニュアルのページが表示される。

ヒント

★ 使用許諾の画面は、初めて立ち上げた時のみ表示されます。2 回目以降は表示されません。

7 ボタンをクリックしてページを読み進める。

8 参照先のページを開くときは、緑色の文字をクリックする。

電子マニュアルを閉じるときは、画面右上の [×] ボタンをクリックする。

知りたいことをヘルプやマニュアルから探す

CyberSupport for HITACHI(以下、CyberSupport) を使うと、パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルの中から探し出せます。

1 デスクトップ画面の [CyberSupport for HITACHI] アイコンをダブルクリックする。

▼使用許諾の画面が表示される。

2 [同意する] ボタンをクリックする。

▼ [CyberSupport へようこそ] が表示される。

3 「次回から、ダイアログボックスを表示しない」にチェックを付け、[閉じる] ボタンをクリックする。

4 [対象選択] タブをクリックし、検索対象にしたいマニュアル、ヘルプにチェックを付け、質問を入力して [検索] ボタンをクリックする。

▼類似度が高い順に、検索結果が表示される。

5 検索結果をクリックする。

▼検索されたページが表示される。

ヒント

★ 拡大するときは、をクリックし、拡大する場所をクリックします。縮小するときは、[Ctrl] キーを押しながら縮小する部分をクリックします。

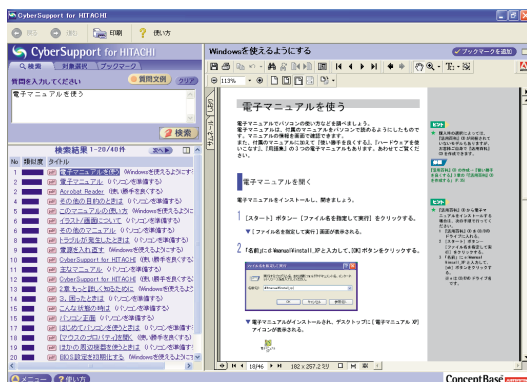
参照

詳しい使い方について→ [Acrobat Reader] の [ヘルプ] メニュー－[Reader のヘルプ]

ヒント

★ CyberSupport については、「HITAC カスタマ・アンサ・センタ」までお問い合わせください。株式会社ジャストシステムでは、お問い合わせを直接受け付けていません。

★ 電子マニュアルをインストールすると、次に Cyber Support を立ち上げた時にデータベースが更新されます。

★ 使用許諾の画面は初めて立ち上げた時のみ表示されます。2 回目以降は表示されません。

印刷する

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックする。

▼ [印刷] が開く。

2 印刷の設定を変えたいときは、[設定] ボタンをクリック、さらに [プロパティ] ボタンをクリックして設定する。
１枚の用紙に２頁分印刷したいときは、プリンターの [プロパティ] で設定する。画面の表示と印刷物で文字の形や位置が異なるときは、プリンターの [プロパティ] で、TrueType フォントを使って印刷する設定にする。

3 [プリント範囲] でプリントするページを指定し、[OK] ボタンをクリックする。

ヒント

★ 設定方法は、プリンターの種類によって異なります。プリンター付属のマニュアルをご参照ください。プリンターによっては設定できない場合もあります。

ヒント

★ 表紙の印刷には時間がかかります。「全ページ」を指定すると表紙から裏表紙までの全ページが印刷されるため時間がかかります。

重要

◎ 連続印刷すると、イラストなどが印刷されなかったり、欠けたりすることがあります。その時は、該当ページを指定し、印刷してください。

わからないときは、ヘルプで！

Windows の使い方がわからないときは、ヘルプを使って調べましょう。
ヘルプを使うと、調べたい内容を目次から探したり、思いつく言葉で調べることができます。
ヘルプでの調べ方には、次の方法があります。
・ 項目から調べる
・ 指定した用語から調べる
・ 操作画面の項目の意味を調べる

項目から調べる

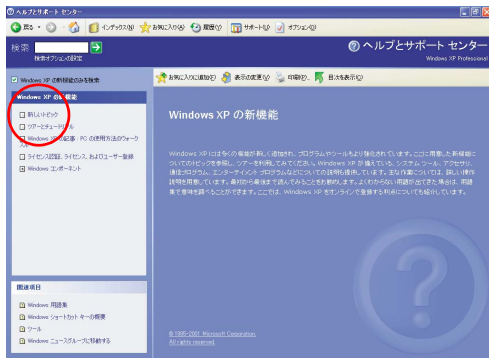
わからないことをヘルプから調べましょう。

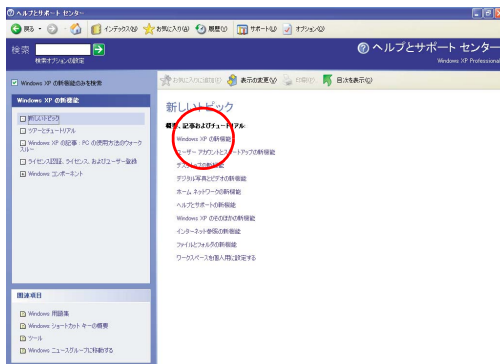
1 **[スタート] ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート] をクリックする。**

▼ [ヘルプとサポートセンター] が表示される。

2 **調べたい内容を、項目から選ぶ。**
ここでは、Windows XP の新機能について調べるため、[Windows XP の新機能] をクリックする。

▼ 画面が切り替わる。

3 「Windows XP の新機能」の [新しいトピック] をクリックする。

▼画面が切り替わる

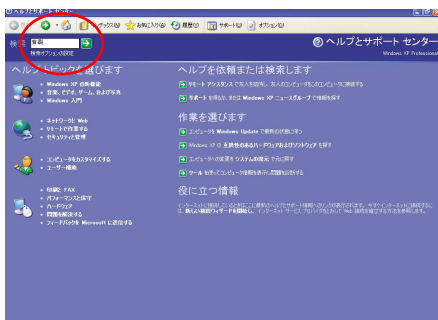
4 「新しいトピック」の [Windows XP の新機能] をクリックする。

▼画面が切り替わり、説明が表示される。

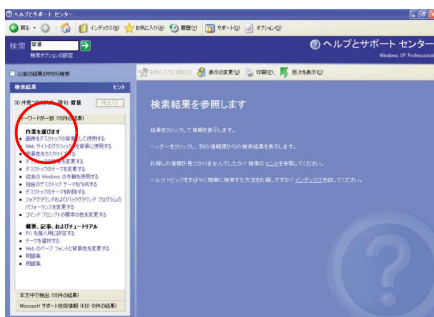
5 説明を読む。

指定した用語から調べる

わからないことを、指定した用語のあるページから調べましょう。

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート] をクリックする。**

2 **[検索] 欄に調べたい用語を入力し、➡ボタンをクリックする。**

▼関連する項目が表示される。

3 **調べたい項目をクリックする。**

▼画面が切り替わり、説明が表示される。

4 **説明を読む。**

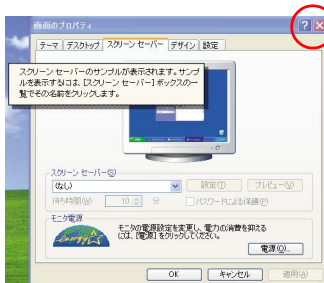
操作画面の項目の意味を調べる

いろいろな設定などを行う画面で、わからない項目の意味を調べてみましょう。例として、[画面のプロパティ] 画面を説明します。

1 画面右上の [?] をクリックする。

▼マウスポインタの形が ? に変わります。

2 調べたい項目をクリックする。

▼説明のポップアップが表示される。

参照

[画面のプロパティ] の表示方法→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1 章の「ディスプレイの表示を変える」

3 章

ご購入時の状態に戻すには

パソコンをご購入時の状態に戻したいときは、パソコンをセットアップし直します。パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが立ち上がらないときも、セットアップし直してください。

準備する

次の準備を行ってください。

必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、ご購入後に作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。FD、CD-R、CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップを行ってください。バックアップしたファイルを戻せるように元のフォルダーなど保存先も控えてください。

インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。その場合は必要ありません。

拡張機器を取り外す

ご購入後に拡張機器や拡張ボードなどを取り付けている場合は、取り外してください。

このあとの作業の流れ

1 BIOS の設定をご購入時の状態に戻す。

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS をご購入時の状態に戻してください。

参照
詳細について→「BIOS の設定を戻す」(P.29)

2 一括セットアップする。

▼ これを行うと、パソコンの HDD がご購入時の状態に戻ります。さらに、システムパーティションのサイズを変更したり、システムパーティションを購入時の状態に戻すこともできます。

参照
詳細について→「一括セットアップする」(P.33)

BIOS の設定を戻す

BIOS(バイオス) は、パソコンのメモリーや HDD などハードウェアの環境を設定するソフトウェアです。日常使う場合は、操作する必要がありません。マニュアルで説明する項目以外の設定は、変更しないでください。

BIOS メニューを表示する

BIOS の立ち上げ方と終わり方について説明します。

立ち上げる

1 パソコンの電源を入れる。
パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter Setup,<F12> to enter Multi Boot Selection Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼ BIOS メニューが表示される。

```
                     PhoenixBIOS Setup Utility
 Information   Main    Advanced    Security    Boot    Exit

 CPU Type                   Intel(R) Pentium(R) 4 Mobile CPU x.xxGHz
 CPU Speed                  xxxx MHz
 System Memory              640 KB
 Extended Memory            xxxxxx KB
 HDD1 Serial Number         xxxxxxxxxxx
 HDD2 Serial Number         None
 System BIOS Version        R01-xx
 VGA BIOS Version           x.xx.xx
 KBC Version                xx.xx.xx
 Serial Number              xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
 Asset Tag Number
 Product Name               FLORA 270W NV8/NV9
 Manufacture Name           HITACHI
 UUID Number                xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
 LAN Device                 Exist (MAC Address = xx:xx:xx:xx:xx:xx)

 F1  Help  ↑↓  Select Item  F5/F6  Change  Values      F9  Setup Defaults
 Esc Exit  ←→  Select Menu  Enter  Select ▶Sub-menu    F10 Save and Exit
```

ヒント
★ パソコンが正しく動かなくなってお問い合わせしたときに、BIOS の設定を確認したり変更するように言われることがあります。

終了する

1 BIOS メニューで [Esc] キーを押す。

▼ [Exit] 画面が表示される。

2 [Exit Saving Changes] を選び、[Enter] キーを押す。

```
                    PhoenixBIOS Setup Utility
 Information  Main  Advanced  Security  Boot|Exit|

 Exit Saving Changes                      Item Specific Help
 Exit Discarding Changes                 Exit System Setup and
 Load Setup Defaults                     save your changes to
 Discard Changes                         CMOS.
 Save Changes

F1  Help  ↑↓  Select Item  F5/F6  Change Values    F9  Setup Defaults
Esc Exit  ←→  Select Menu  Enter  Execute Command  F10 Save and Exit
```

▼ 設定内容の保存確認のメッセージが表示される。

3 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼ BIOS メニューが終了し、パソコンが立ち上げ直されます。設定を変更しているときは、その内容は保存されます。

ヒント

★ 変更した内容を保存しないときは、[Exit Discarding Changes] を選んでください。

BIOS 設定を初期化する

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す (初期化する) ことで解決できる問題もあります。購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter Setup,<F12> to enter Multi Boot Selection Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼ BIOS メニューが表示される。

2 [Esc] キーを押す。

▼ [Exit] 画面が表示される。

3 [Load Setup Defaults] を選び、[Enter] キーを押す。

```
PhoenixBIOS Setup Utility
 Information  Main  Advanced Security Boot | Exit |

 Exit Saving Changes                       | Item Specific Help
 Exit Discarding Changes                   |
 Load Setup Defaults                       | Exit System Setup and
 Discard Changes                           | save your changes to
 Save Changes                              | CMOS.

F1  Help   ↑↓  Select Item  F5/F6  Change  Values    F9   Setup Defaults
Esc Exit   ←→  Select Menu  Enter  Execute Command   F10  Save and Exit
```

▼ 初期化するかどうか確認のメッセージが表示される。

4 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

```
Setup Confirmation

Load default configuration now?
[Yes]      [No]
```

▼ [Exit] 画面に戻る。

重要

◎ BIOS の設定を初期化しても内蔵タイマーの日付と時刻は変更されません。

ヒント

★ PC カードを取り付けているときは、取り付けた PC カードをパソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

参照

PC カードの取り外しについて→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2 章の「PC カード」

5 [F10] キーを押す。

▼設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

6 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼設定した内容が保存され、セットアップメニューが終了し、パソコンが立ち上げ直されます。

一括セットアップする

この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いてシステムパーティションをご購入時の状態に戻します。さらに、システムパーティションサイズを変更することもできます。

一括セットアップのしくみ

一括セットアップするには、次の二つの方法があります。

HDD 内の「リカバリー領域」を使った一括セットアップ

このパソコンは、HDD 内の「リカバリー領域」に保存されているリカバリーイメージデータを使って、一括セットアップを行います。通常は、この方法で一括セットアップを行ってください。

HDD の領域

この方法では、ドライブ D を除いた残りの容量内でドライブ C の領域 (サイズ) を大きくしたり、領域の分け方を自由に変更することができます。ドライブ D を削除してすべての領域を使用したい場合は、次の『Product Recovery CD-ROM』、『BackUP CD-ROM』を使った一括セットアップ方法が利用できます。

『Product Recovery CD-ROM』、『BackUP CD-ROM』を使った一括セットアップ

パソコン購入時に『Product Recovery CD-ROM』を選択された場合、CD-ROM は本体に同梱されています。購入時に選択しなかった場合は、『Product Recovery CD-ROM』と同様の『BackUP CD-ROM』を作成することができます。作成方法については「BackUP CD-ROM の作成手順」をご参照ください。

『Product Recovery CD-ROM』、『BackUP CD-ROM』を使った一括セットアップは、次のような場合にのみご利用ください。

・HDD の領域をすべてのドライブ C で使用したい (1 パーティションにしたい) とき
・HDD の領域をすべて自由に使用したい (ドライブ数を増やしたい) とき

重 要

◎ 『Product Recovery CD-ROM』、『BackUP CD-ROM』ではリカバリー領域を回復することはできません。このため、いったんリカバリー領域を削除するとリカバリー領域からのセットアップはできなくなります。

◎ HDD を保守交換した場合は、すべてのデータがなくなります。ご購入時の選択により『Product Recovery CD-ROM』が添付されていない場合は必ず『BackUP CD-ROM』を作成してください。

◎ リカバリー領域を削除したり、リカバリー領域内のファイルの削除・変更を行わないでください。一括セットアップができなくなります。
リカバリー領域を削除したい場合には事前に『BackUP CD-ROM』、『活用百科』CD を作成してください。

◎ リカバリー領域を含む HDD はダイナミックディスクに変換することはできません。

ヒント

★ リカバリーパーティションのボリュームラベルは "HTCRECOVERY" です。

『BackUP CD-ROM』を作成する

リカバリー領域内のイメージデータを元に、『BackUP CD-ROM』を作成することができます。『BackUP CD-ROM』を使用することで、『Product Recovery CD-ROM』と同様にCD-ROMからシステムのセットアップを行うことができます。ただし、『BackUP CD-ROM』ではリカバリー領域の回復はできません。

準備する

『BackUP CD-ROM』を作成する場合、次のものが必要です。

■CD-R、CD-RWメディア（3枚）
『BackUP CD-ROM』のメディアです。

■CD-R、CD-RW装置
作成したイメージをCD-R､CD-RWメディアに書き込むために必要となります。CD-R、CD-RW装置は、使用しているパソコンに接続されている必要はありません。次の手順で作成したイメージファイルをネットワークなどで転送し、CD-R、CD-RW装置の接続されたシステム装置で『BackUP CD-ROM』を作成することができます。

■CD-R/RWライティングソフト
作成したイメージをCD-R、CD-RWメディアに書き込むために必要です。
弊社で推奨するライティングソフトは次のとおりです。

・ロキシオ・ジャパン株式会社 Easy CD Creator 5
・株式会社 アプリックス WinCDR5.0
・株式会社 ビー・エイチ・エー B's Recorder GOLD
・プロジーグループ株式会社 nero5,5 BURNING ROM

各ライティングソフトの使用方法については、製品に付属されているマニュアルをご確認ください。

作成前の注意

『BackUP CD-ROM』の作成中に他のアプリケーションソフトが立ち上がっていると、CD-Rへの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成を開始する前に、次の操作を行っておくことをおすすめします。

・スクリーンセーバーが立ち上がらないように設定する
・自動的にスタンバイ状態／休止状態にならないように設定する
・立ち上がっているアプリケーションをすべて終了する
・常駐プログラムをすべて終了する

重要

◎ 『BackUP CD-ROM』は現在のシステム環境をバックアップするものではありません。

◎ 『BackUP CD-ROM』の作成は1部だけとなります。これは、パソコンを初めて立ち上げた時に表示される「許諾契約書」に基づくものです。一度『BackUP CD-ROM』を作成されると、再度の作成はできなくなります。『BackUP CD-ROM』作成後は、HDD内の「リカバリ領域」からの再セットアップもできなくなります。ご注意ください。

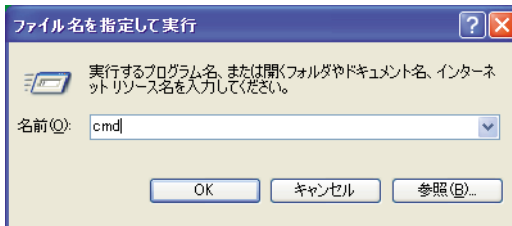
重要

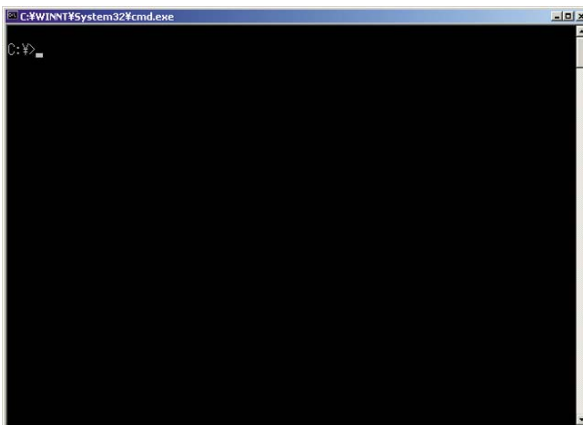
◎ 必ず700MBまたは650MBの「CD-R、CD-RW」メディアを用意してください。DVD-R/RWメディアでは、『BackUP CD-ROM』を作成できません。

『BackUP CD-ROM』の作成手順

リカバリー領域内に格納されているイメージデータを元に、「mkbackxp」コマンドを使用して『BackUP CD-ROM』の ISO9660 イメージを作成します。作成された ISO9660 イメージを元に CD-R、CD-RW 装置とライティングソフトを使用して、『BackUP CD-ROM』を作成します。作成手順は次のとおりです。

1 [スタート] メニューから「ファイルを指定して実行」を選択する。

▼ ファイル名を指定して実行が表示される。

2 "cmd" と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ コマンドプロンプトが表示される。

3 ドライブをリカバリー領域が格納されたドライブに変更する。

(例) d:[ENTER]

出荷状態ではドライブ D にリカバリー領域が格納されています。また、リカバリー領域が格納されているドライブのボリュームラベルは "HTCRECOVERY" となっています。

4 コマンドが格納されているディレクトリに、カレントパスを変更する。

(例) CD\HTCRECOV\BACKUPCD

5 次の書式に従い、コマンドを起動する。

MKBACKXP [ドライブ:][パス]

[ドライブ:] ISOイメージを格納するドライブを指定します。
[パス] ISOイメージを格納するパスを指定します。
スペースを含むパスを指定する場合は[ドライブ:][パス]全体を二重引用符("")で囲む必要があります。

(例) MKBACKXP c:
(例) MKBACKXP c:\
(例) MKBACKXP c:\TEMP
(例) MKBACKXP "c:\Documents and Settings"

コマンドを起動する前に、ISO イメージの格納先ドライブに十分な空きがあることを確認してください。機種によって異なりますが、すべてのイメージを作成するには約2.5GBの空き容量が必要です。

▼コマンドのメニューが表示される。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  BACKUP CD-ROM用のISOイメージを作成します。              ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  作成作業を継続しますか？                                ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
 +-------------------------------------------------------------+
 : (1) BACKUP CD-ROMの全てのISOイメージを作成します。          :
 +-------------------------------------------------------------+
 : (2)  作成作業の中断                                         :
 +-------------------------------------------------------------+
                    選択 (1 / 2) ? :
```

6 画面の指示に従って、ISOイメージを作成する。

ISOイメージファイルは、3つのファイルで構成されます。その全体を一括して作成することも、部分的に作成することもできます。ISOイメージファイルは、指定したパスに"DISKXP?.ISO (?は数字)"の名前で次のファイル名で作成されます。

項目	ファイル名
1枚目	DISKXP1.ISO
2枚目	DISKXP2.ISO
3枚目	DISKXP3.ISO

重要

◎ カレントパスを変更せず、絶対パスでコマンドを指定した場合、コマンドが正しく動作しません。

◎ ネットワークドライブを含むパスを指定した場合、ISOイメージファイルを作成できない場合があります。パスの指定はローカルドライブ内で行ってください。

▼ ISO イメージファイルが作成される。(画面は作成中の表示例)

● ISO イメージファイル作成中は進行状況が表示されます。

7 **作成した ISO イメージを CD-R、CD-RW に書き込み、『BackUP CD-ROM』を作成する。**

作成したイメージファイルを CD-R、CD-RW 装置の接続されたシステム装置にコピーし、ライティングソフトで『BackUP CD-ROM』を作成してください。

重要

◎ ISOイメージ「DISK****.iso」をファイルとして CD-R、CD-RW に書き込まないでください。ISO イメージは、ISO9660 規格に準拠した特殊なファイルです。ISO イメージの書き込み方法は、各ライティングソフトにより異なります。『BackUP CD-ROM』を作成するときは、各ソフトに付属のマニュアルまたは、ヘルプをご参照ください。

『活用百科』CD を作成する

ご購入時の選択により『Product Recovery CD-ROM』、『活用百科』CD が同梱されないモデルがあります。ドライブ D 内の『活用百科』データを元に、『活用百科』CD を作成することができます。リカバリー領域を削除したい場合には、事前に『BackUP CD-ROM』と『活用百科』CD を作成してください。

準備する

『活用百科』CD を作成する場合、次のものが必要です。

■CD-R、CD-RW メディア (1 枚)
『活用百科』CD のメディアです。

■CD-R、CD-RW 装置
『活用百科』データを CD-R、CD-RW メディアに書き込むために必要となります。CD-R、CD-RW 装置は、使用しているパソコンに接続されている必要はありません。
次の手順で、データをネットワークなどで転送し、CD-R、CD-RW 装置の接続されたシステム装置で『活用百科』CD を作成することができます。

■CD-R/RW ライティングソフト
『活用百科』データを CD-R、CD-RW メディアに書き込むために必要です。
弊社で推奨するライティングソフトは次のとおりです。

・ロキシオ・ジャパン株式会社 Easy CD Creator 5
・株式会社 アプリックス WinCDR5.0
・株式会社 ビー・エイチ・エー B's Recorder GOLD
・プロジーグループ株式会社 nero5,5 BURNING ROM

各ライティングソフトの使用方法については、製品に付属されているマニュアルをご確認ください。

作成前の注意

『活用百科』データの書き込み中に他のアプリケーションソフトが立ち上がっていると、エラーが発生することがあります。次の操作を行っておくことをおすすめします。

・スクリーンセーバーが立ち上がらないように設定する
・自動的にスタンバイ状態／休止状態にならないように設定する
・立ち上がっているアプリケーションをすべて終了する
・常駐プログラムをすべて終了する

『活用百科』CD の作成手順

ドライブ D 内に格納されている『活用百科』データを、CD-R、CD-RW 装置とライティングソフトを使用して、『活用百科』CD を作成します。作成手順は次のとおりです。

1 ドライブ D 内に格納されている、次の 3 つのフォルダーをすべて、『BackUP CD-ROM』を作成したシステム装置にコピーする。

- **[Drivers]**
- **[Manual]**
- **[Programs]**

2 コピーした 3 つのフォルダーを CD-R または CD-RW に書き込み、『活用百科』CD を作成する。

ライティングソフトで『活用百科』CD を作成してください。

HDD 内の「リカバリー領域」を使った一括セットアップ

ここでは、リカバリー領域を使用した一括セットアップ方法を説明します。

1 **パソコンの電源を入れ、パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter SETUP,<F12> to enter Multi Boot Selection Menu」と表示されたら、[F12] キーを押す。**

▼ [Boot Menu] 画面が表示される。

```
Boot Menu

1.   +Removable Devices
2.   CD-ROM Drive
3.   +Hard Drive
4.   Recovery

     <Enter Setup>
```

2 **カーソルを [4. Recovery] に合わせ [Enter] キーを押す。**

▼ 再セットアップメニューが表示される。

```
************************************
**                                **
**  Microsoft(R) Windows(R) XP Professional  **
**                                **
**  上記のオペレーティングシステムの回復方法を選択します。  **
**                                **
**  オペレーティングシステムの回復方法を選択してください。  **
**                                **
************************************
: (1) リカバリパーティションを除くハードディスクの内容を消去した後、 :
:     システムパーティションを回復                                  :
:     －リカバリパーティション以外の内容は消去されます。            :
+-------------------------------------------------------------------+
: (2) 現在のシステムパーティションを回復                            :
:     －現在のシステムパーティションの内容は消去されます。          :
:     －システムパーティション以外のパーティションは消去しません。  :
+-------------------------------------------------------------------+
: (3) 回復作業の中断                                                :
+-------------------------------------------------------------------+
                   選択 (1 / 2 / 3) ? :
```

＊ (1) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。
ドライブ C 以外のパーティションも初期化される。

重要

◎ リカバリー領域を削除した場合は、「4. Recovery」は表示されません。

◎ HDD内のリカバリー領域からシステムパーティションを回復させる時は、CD-ROM およびドライブの準備は必要ありません。

＊ (2) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。
　ドライブ C 以外のパーティションは初期化されない。
　ドライブ C のパーティションサイズは変更できない。
＊ (3) を選ぶと OS のセットアップを中止する。

3 [1] または [2] キーを押す。
(1) を選んだ場合は、次の画面が現れる。
(2) を選んだ場合は、手順 7 に進む。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  Microsoft(R) Windows(R) XP Professional                 ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  新規にシステムパーティションをハードディスクに作成した後  ＊＊
＊＊  オペレーティングシステムを回復します。                  ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  ＜警告＞                                                ＊＊
＊＊    続行するとリカバリパーティション以外の                ＊＊
＊＊    ハードディスクの内容は全て消去されます。              ＊＊
＊＊    必要なデータ等がある場合は回復作業を中断して          ＊＊
＊＊    先にバックアップを取ってください。                    ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  上記のオペレーティングシステムの回復作業を続行しますか？  ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
: (1) 続行                                                      :
:     ーリカバリパーティション以外のハードディスク内容を消去し、  :
:       回復処理を行います。                                    :
+---------------------------------------------------------------+
: (2) 回復作業の中断                                            :
+---------------------------------------------------------------+
                        選択 (1 / 2) ? :
```

＊ (1) を選ぶと、ハードディスクの初期化を行ったあと、新規に作成するシステムパーティションのサイズ変更画面へ進む。
＊ (2) を選ぶと、OS のセットアップを中止する。

重要

◎ (1) の選択後、HDD の内容はリカバリーパーティション以外すべて消去されます。必要なデータなどがある場合はセットアップを中止して先にバックアップを取ってください。

◎ (1) の選択後はセットアップを中止できません。

◎ (2) を選択すると、次の立ち上げ時は再セットアップメニュー表示前のパーティションが立ち上がります。

◎ (2) を選択時、再セットアップメニュー表示前にアクティブなパーティションがなかった場合は、再度、再セットアップメニューが表示されます。

4 [1] キーを押す。

▼ システムパーティションのサイズ変更画面が表示される。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊　ハードディスクに新規に作成するシステムパーティションの          ＊＊
＊＊　サイズを指定します。                                            ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊　設定可能なシステムパーティションのサイズの範囲は                ＊＊
＊＊　　　最小値：XXXXXXXXXX ＭＢ                                     ＊＊
＊＊　　　最大値：XXXXXXXXXX ＭＢ                                     ＊＊
＊＊　です。                                                          ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊　―設定可能なサイズの範囲内でシステムパーティションのサイズを    ＊＊
＊＊　　入力した後、Enter キーを押してください。（サイズの単位はＭＢ）＊
＊＊　―サイズを入力しないで Enter キーを押すと                       ＊＊
＊＊　　　デフォルト値：XXXXXXXXXX ＭＢ                               ＊＊
＊＊　　で新規にシステムパーティションを作成します。                  ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
：　パーティションサイズを入力してください：                          ：
```

5 新規に作成するシステムパーティションのサイズを入力する。

サイズを変更する場合は、設定範囲内でサイズを入力したあと、[Enter] キーを押す。
デフォルト値のサイズを使用する場合は、そのまま [Enter] キーを押す。

▼ 次のメッセージが画面下に表示される。

```
指定されたシステムサイズ XXXXXXXXXX ＭＢ
これでよろしいですか？ (Y＝はい / N＝いいえ)：
```

6 指定したシステムパーティションサイズにする場合は、[Y] キーを押して手順 8 に進む。

▼ [N] キーを入力すると手順 5 に戻る。

◎ HDD の全領域を使用してパーティションを作成することはできません。パーティションの最大値はリカバリーパーティションサイズを差し引いた値になります。

7 手順 3 で (2) を選んだ場合は、次の画面が表示されるので、[1] キーを押して次に進む。

▼ OS の回復作業が開始される。

```
************************************
**                                **
**  Microsoht(R) Windows(R) XP Professional  **
**                                **
**  既存のシステムパーティションに選択されたオペレーティング  **
**  システムを回復します。              **
**                                **
**  <警告>                          **
**    続行するとシステムパーティションの内容は全て消去されます。 **
**    必要なデータ等がある場合は回復作業を中断して  **
**    先にバックアップを取ってください。   **
**                                **
**  上記のオペレーティングシステムを既存のシステムパーティション **
**  に回復しますか?                   **
**                                **
************************************
: (1) 既存のパーティションに回復                :
:     ―システムパーティションを初期化し、回復処理を行います。 :
+------------------------------------------------------------------+
: (2) 回復作業の中断                          :
+------------------------------------------------------------------+
                 選択 (1 / 2) ? :
```

* (1) を選ぶと、既存のシステムパーティションに OS をセットアップする。
  システムパーティション以外のパーティションは初期化されない。
* (2) を選ぶと、OS のセットアップを中止する。

8 オペレーティングシステムの回復作業終了画面が表示されたら、パソコンを立ち上げ直す。

▼ OS の回復作業終了画面が表示される。

```
************************************
**                                **
**  Microsoht(R) Windows(R) XP Professional  **
**                                **
**  上記のオペレーティングシステムの回復作業は正常に  **
**  終了しました。                     **
**                                **
**  CTRL + ALT + DEL キーを同時に押してシステム装置を再起動して  **
**  ください。                         **
**                                **
************************************
```

重要

◎ 使用環境によっては、手順 3 の (2) の選択後に左記の画面が表示されない場合があります。この場合 [1] キーを押すと手順 3 で [1] キーを選択したときと同様にドライブ C 以外のパーティションも初期化します。左記の画面が表示されない場合は、画面の指示に従って [2] キーを押して回復作業を中断するか、[1] キーを押して手順 4 へ進んでください。

9 **以降、Windows XPのセットアップ手順に従って、Windows環境をセットアップする。**

『Product Recovery CD-ROM』、『BackUP CD-ROM』を使った一括セットアップ

ここでは『Product Recovery CD-ROM』や『BackUP CD-ROM』を使用した一括セットアップ方法を説明します。

1 **パソコンの電源を入れ、パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter SETUP,<F12> to enter Multi Boot Selection Mene」と表示されたら、[F12]キーを押す。**

▼ [Boot Menu]画面が表示される。

```
Boot Menu

1.   +Removable Devices
2.   CD-ROM Drive
3.   +Hard Drive
4.   Recovery

<Enter Setup>
```

2 **『Product Recovery CD-ROM』(Disc1)または『BackUP CD-ROM』(Disc1)をCD/DVDドライブに入れ、カーソルを[2. CD-ROM Drive]に合わせ[Enter]キーを押す。**

▼ 再セットアップメニューが表示される。

参照

セットアップ方法→1章の「使用許諾契約に同意しよう」(P.4)

◎ リカバリー領域を削除した場合は、「4. Recovery」は表示されません。

```
***********************************
**                               **
**  Microsoft(R) Windows(R) XP Professional   **
**                               **
**  上記のオペレーティングシステムの回復方法を選択します。  **
**                               **
**  オペレーティングシステムの回復方法を選択してください。  **
**                               **
***********************************
: (1) ハードディスク初期化した後、システムパーティションを回復 :
+------------------------------------------------------------+
: (2) 現在のシステムパーティションを回復                     :
:     ー現在のシステムパーティションの内容は消去されます。   :
:     ーシステムパーティション以外のパーティションは消去しません。 :
+------------------------------------------------------------+
: (3) 回復作業の中断                                         :
+------------------------------------------------------------+
                 選択 (1 / 2 / 3) ? :
```

＊ (1) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。
ドライブ C 以外のパーティションも初期化される。
＊ (2) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。
ドライブ C 以外のパーティションは初期化されない。
ドライブ C のパーティションサイズは変更できない。
＊ (3) を選ぶと OS のセットアップを中止する。

3 [1] または [2] キーを押す。

(1) を選んだ場合は、次の画面が現れる。
(2) を選んだ場合は、手順 7 に進む。

```
***********************************
**                               **
**  Microsoft(R) Windows(R) XP Professional   **
**                               **
**  新規にシステムパーティションをハードディスクに作成した後  **
**  選択されたオペレーティングシステムを回復します。  **
**                               **
**  <警告>                       **
**    続行するとハードディスクの内容は全て消去されます。  **
**    必要なデータ等がある場合は回復作業を中断して  **
**    先にバックアップを取ってください。  **
**                               **
**  上記のオペレーティングシステムの回復作業を続行しますか?  **
**                               **
***********************************
: (1) 続行                                                   :
:     ーハードディスクを初期化し、回復処理を行います。       :
+------------------------------------------------------------+
: (2) 回復作業の中断                                         :
+------------------------------------------------------------+
                 選択 (1 / 2) ? :
```

重要

◎ (1) の選択後ハードディスクの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合はセットアップを中止して先にバックアップを取ってください。
◎ (1) の選択後はセットアップを中止できません。

＊ (1) を選ぶと、ハードディスクの初期化を行ったあと、新規に作成するシステムパーティションのサイズ変更画面へ進む。
＊ (2) を選ぶと、OS のセットアップを中止する。

4 [1] キーを押す。

▼ システムパーティションのサイズ変更画面が表示される。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  ハードディスクに新規に作成するシステムパーティションの      ＊＊
＊＊  サイズを指定します。                                      ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  設定可能なシステムパーティションのサイズの範囲は          ＊＊
＊＊      最小値：XXXXXXXXXX ＭＢ                              ＊＊
＊＊      最大値：XXXXXXXXXX ＭＢ                              ＊＊
＊＊  です。                                                  ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊  ―設定可能なサイズの範囲内でシステムパーティションのサイズを ＊＊
＊＊    入力した後、Enter キーを押してください。( サイズの単位は ＭＢ) ＊
＊＊  ―サイズを入力しないで Enter キーを押すと                  ＊＊
＊＊      デフォルト値：XXXXXXXXXX ＭＢ                        ＊＊
＊＊    で新規にシステムパーティションを作成します。            ＊＊
＊＊                                                          ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
:   パーティションサイズを入力してください：                      :
```

5 新規に作成するシステムパーティションのサイズを入力する。

サイズを変更する場合は、設定範囲内でサイズを入力したあと、[Enter] キーを押す。
デフォルト値のサイズを使用する場合は、そのまま [Enter] キーを押す。

▼ 次のメッセージが画面下に表示される。

```
指定されたシステムサイズ XXXXXXXXXX ＭＢ
これでよろしいですか？ (Y ＝はい / N ＝いいえ )：
```

6 指定したシステムパーティションサイズにする場合は、[Y] キーを押して手順 8 に進む。

▼ [N] キーを入力すると手順 5 に戻る。

7 手順3で(2)を選んだ場合は、次の画面が表示されるので、[1]キーを押して次に進む。

▼OSの回復作業が開始される。

```
************************************
**                                **
** Microsoht(R) Windows(R) XP Professional  **
**                                **
** 既存のシステムパーティションに選択されたオペレーティング **
** システムを回復します。              **
**                                **
** <警告>                         **
**  続行するとシステムパーティションの内容は全て消去されます。 **
**  必要なデータ等がある場合は回復作業を中断して **
**  先にバックアップを取ってください。    **
**                                **
** 上記のオペレーティングシステムを既存のシステムパーティション **
** に回復しますか?                  **
**                                **
************************************
: (1) 既存のパーティションに回復                :
:   ―システムパーティションを初期化し、回復処理を行います。 :
+----------------------------------+
: (2) 回復作業の中断                        :
+----------------------------------+
          選択 (1 / 2) ? :
```

* (1)を選ぶと、既存のシステムパーティションにOSをセットアップする。
  システムパーティション以外のパーティションは初期化されない。
* (2)を選ぶと、OSのセットアップを中止する。

重要

◎ 使用環境によっては、手順3の(2)の選択後に左記の画面が表示されない場合があります。この場合[1]キーを押すと手順3で[1]キーを選択したときと同様にドライブC以外のパーティションも初期化します。左記の画面が表示されない場合は、画面の指示に従って[2]キーを押して回復作業を中断するか、[1]キーを押して手順4へ進んでください。

8 OSの回復作業中に「Insert next media and press enter to continue・・・」というメッセージが表示されたら、『Product Recovery CD-ROM』または『BackUP CD-ROM』を(Disc2)、(Disc3)の順に入れ替える。

9 [OK]ボタンが選択されているのを確認し、[Enter]キーを押す。

▼OSの回復作業終了画面が表示される。

```
************************************
**                                **
** Microsoht(R) Windows(R) XP Professional  **
**                                **
** 上記のオペレーティングシステムの回復作業は正常に **
** 終了しました。                     **
**                                **
** CTRL + ALT + DEL キーを同時に押してシステム装置を再起動して **
** ください。                        **
**                                **
************************************
```

10 **パソコンから CD-ROM を取り出し、パソコンを立ち上げ直す。**

11 **以降、Windows XP のセットアップ手順に従って、Windows 環境をセットアップする。**

参照

セットアップ方法→1章の「使用許諾契約に同意しよう」(P.4)

さくいん

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows を使えるようにする

－電源を入れてから－

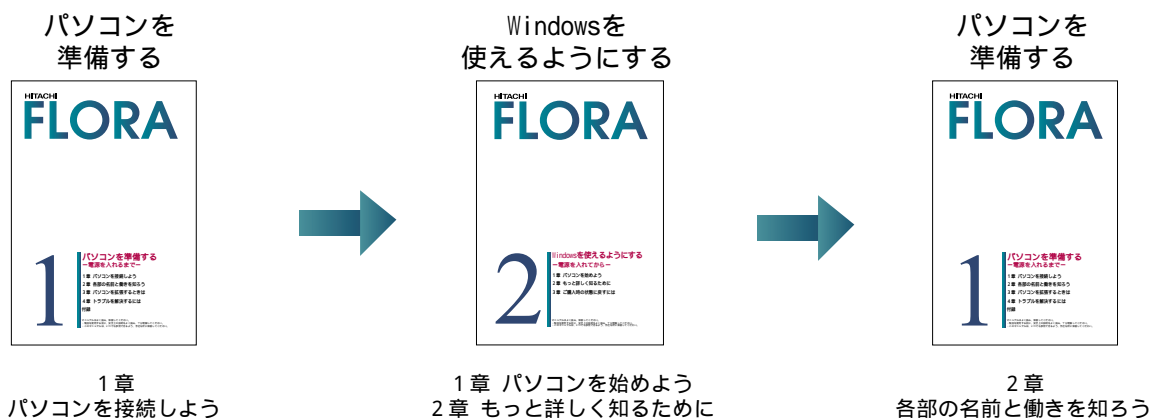
初 版 2003 年 4 月

株式会社　日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部
〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地
お問い合わせ先：HCA センタ 0120-2580-91

このマニュアルは、再生紙を使用しています。

NV0892000-1

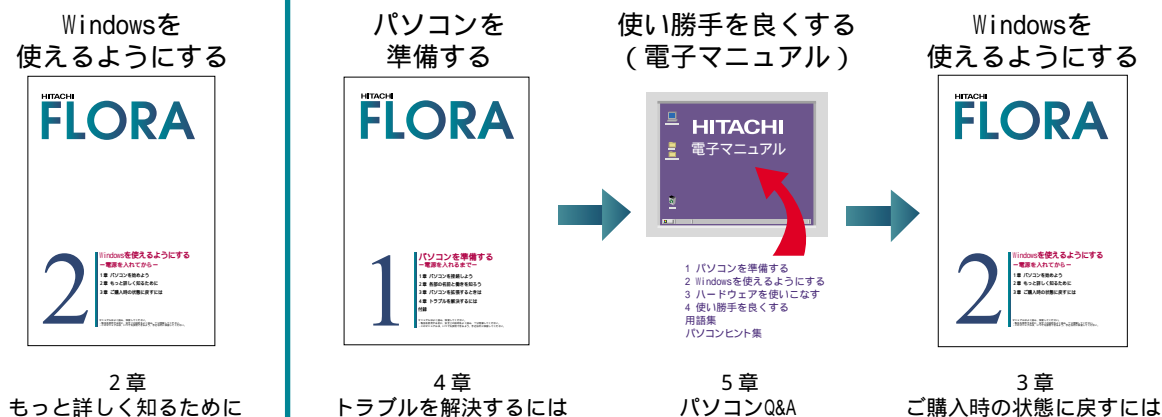
マニュアルの使い方

はじめてパソコンを使うときは

はじめてパソコンを使うときは、マニュアルの各章を→の順に読みながらパソコンを操作しましょう。
使いながら、パソコンとWindowsの基本的な操作を学ぶことができます。

電子マニュアルを見るには

Windowsを
使えるようにする

2章
もっと詳しく知るために

困ったときは

パソコンの調子がおかしいときは、マニュアルの各章を→の順に読むことをお勧めします。
パソコンをご購入時の状態に戻す必要があるときは、さらに→の順にお読みください。